



2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年8月3日

上場会社名 株式会社 紀陽銀行
 コード番号 8370 URL <https://www.kiyobank.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役頭取 (氏名) 松岡 靖之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員経営企画本部長 兼 人事部長 (氏名) 原口 裕之

TEL 073-426-7133

四半期報告書提出予定日 2020年8月7日 特定取引勘定設置の有無 無

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	19,572	17.3	4,563	54.0	2,650	62.7
2020年3月期第1四半期	23,653	11.6	9,917	68.6	7,101	75.9

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 8,294百万円 (304.2%) 2020年3月期第1四半期 2,052百万円 (120.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	39.05	39.00
2020年3月期第1四半期	103.91	103.81

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	5,021,092	225,302	4.4
2020年3月期	4,728,166	220,256	4.6

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 222,589百万円 2020年3月期 217,561百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計 - 期末新株予約権 - 期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。
 なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		35.00	35.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)		0.00		35.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	36,700	13.8	8,000	48.9	5,700	48.2	83.89
通期	74,900	13.7	14,800	31.8	10,000	27.1	147.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	70,300,000 株	2020年3月期	70,300,000 株
期末自己株式数	2021年3月期1Q	2,874,244 株	2020年3月期	2,351,685 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	67,876,430 株	2020年3月期1Q	68,335,587 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【添付資料】

[目次]

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(追加情報)	6

※2021年3月期 第1四半期決算説明資料

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における連結経営成績につきましては、有価証券利息配当金が減少したものの、貸出金利息が増加したことや、預金等利息や債券貸借取引支払利息が減少したことなどにより、資金利益は増加しました。また、営業経費は減少したものの、株式等関係損益や国債等債券損益は減少しました。

以上などにより、経常収益は前年同期比40億81百万円減少の195億72百万円、経常費用は前年同期比12億73百万円増加の150億8百万円、経常利益は前年同期比53億54百万円減少の45億63百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比44億51百万円減少の26億50百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における連結財政状態につきましては、総資産が5兆210億円、純資産が2,253億円となりました。

貸出金につきましては、中小企業向け貸出が増加したことなどから、前連結会計年度末比675億円増加の3兆1,396億円となりました。

預金・譲渡性預金につきましては、個人預金や法人預金を中心に増加し、前連結会計年度末比2,810億円増加の4兆3,185億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予想につきましては、当第1四半期連結累計期間における実績が業績予想に対して順調に推移しているため、2020年5月11日に公表しました業績予想から変更しておりません。

なお、業績予想における新型コロナウイルス感染症に関する前提について、重要な変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
現金預け金	507,968	800,862
買入金銭債権	688	588
商品有価証券	45	55
有価証券	1,056,793	986,928
貸出金	3,072,120	3,139,667
外国為替	3,726	3,163
その他資産	48,796	53,166
有形固定資産	34,678	34,586
無形固定資産	3,386	3,320
退職給付に係る資産	13,510	13,620
繰延税金資産	597	657
支払承諾見返	8,845	8,522
貸倒引当金	△22,991	△24,048
資産の部合計	4,728,166	5,021,092
負債の部		
預金	3,977,940	4,261,840
譲渡性預金	59,563	56,679
債券貸借取引受入担保金	161,505	80,445
借入金	249,051	338,875
外国為替	217	280
その他負債	48,012	43,595
退職給付に係る負債	28	28
役員退職慰労引当金	30	—
睡眠預金払戻損失引当金	791	717
偶発損失引当金	408	385
繰延税金負債	1,515	4,419
支払承諾	8,845	8,522
負債の部合計	4,507,910	4,795,790
純資産の部		
資本金	80,096	80,096
資本剰余金	3,074	3,074
利益剰余金	130,571	130,832
自己株式	△3,983	△4,848
株主資本合計	209,759	209,155
その他有価証券評価差額金	6,299	12,187
繰延ヘッジ損益	△7	△29
退職給付に係る調整累計額	1,510	1,276
その他の包括利益累計額合計	7,802	13,434
新株予約権	130	139
非支配株主持分	2,564	2,573
純資産の部合計	220,256	225,302
負債及び純資産の部合計	4,728,166	5,021,092

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
経常収益	23,653	19,572
資金運用収益	11,324	11,265
(うち貸出金利息)	8,178	8,208
(うち有価証券利息配当金)	3,044	2,972
役務取引等収益	3,502	3,485
その他業務収益	5,346	3,572
その他経常収益	3,480	1,249
経常費用	13,735	15,008
資金調達費用	770	461
(うち預金利息)	211	106
役務取引等費用	1,179	1,228
その他業務費用	1,724	1,234
営業経費	9,192	8,863
その他経常費用	868	3,220
経常利益	9,917	4,563
特別利益	7	—
固定資産処分益	7	—
特別損失	31	84
固定資産処分損	31	4
減損損失	—	80
税金等調整前四半期純利益	9,893	4,478
法人税、住民税及び事業税	2,305	1,343
法人税等調整額	476	488
法人税等合計	2,781	1,832
四半期純利益	7,112	2,646
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	11	△4
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,101	2,650

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	7,112	2,646
その他の包括利益	△5,059	5,647
その他有価証券評価差額金	△5,137	5,903
繰延ヘッジ損益	385	△21
退職給付に係る調整額	△308	△233
四半期包括利益	2,052	8,294
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,032	8,282
非支配株主に係る四半期包括利益	19	11

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積りに用いた仮定)

新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積りに用いた仮定については、当第1四半期連結累計期間において、前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した内容から重要な変更はありません。

2021年3月期 第1四半期 決算説明資料

【 目 次 】

1. 損益の状況(単体)	P 1
2. 預金等、貸出金の残高(単体)	P 2
3. 預かり資産残高、預かり資産関連販売額(単体)	P 2
4. 自己資本比率(連結)(単体)	P 2
5. 時価のある有価証券の評価差額(単体)	P 3
6. 金融再生法開示債権(単体)	P 3

(注) 1. 記載金額、比率は単位未満を切り捨てて表示しております。
2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当行が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

株式会社 紀陽銀行

1. 損益の状況

(単位:百万円)

(単体)	2021年3月期 第1四半期 (a)	比較(a-b)	2020年3月期 第1四半期 (b)	2021年3月期 業績予想値
1 経常収益	17,539	4,361	21,900	32,500 (第2四半期累計期間) 65,500 (通期)
2 業務粗利益	14,464	1,085	15,549	
3 資金利益	10,809	252	10,557	
4 うち貸出金利息	8,212	32	8,180	
5 うち有価証券利息配当金	2,973	72	3,045	
6 うち投資信託解約損益	358	71	429	
7 うち預金等利息()	107	106	213	
8 役員取引等利益	1,517	45	1,562	
9 その他業務利益	2,138	1,291	3,429	
10 うち国債等債券損益	2,075	1,189	3,264	
11 経費(除く臨時処理分)()	8,588	439	9,027	
12 実質業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	5,875	646	6,521	7,200 (第2四半期累計期間) 16,000 (通期)
13 うちコア業務純益	3,800	543	3,257	5,500 (第2四半期累計期間) 12,300 (通期)
14 うちコア業務純益(除く投資信託解約損益)	3,441	614	2,827	5,500 (第2四半期累計期間) 12,300 (通期)
15 一般貸倒引当金繰入額()	488	488	-	
16 業務純益	5,386	1,135	6,521	
17 臨時損益	765	3,983	3,218	
18 不良債権処理額()	437	12	425	
19 (与信費用 + ())	(926)	(501)	(425)	
20 うち貸出金償却()	51	325	376	
21 うち個別貸倒引当金繰入額()	365	365	-	
22 貸倒引当金戻入益	-	730	730	
23 償却債権取立益	82	408	490	
24 株式等関係損益	692	2,161	1,469	
25 その他臨時損益	281	672	953	
26 経常利益	4,621	5,119	9,740	7,600 (第2四半期累計期間) 13,800 (通期)
27 特別損益	84	61	23	
28 税引前四半期純利益	4,536	5,180	9,716	
29 法人税等合計()	1,799	919	2,718	
30 法人税、住民税及び事業税()	1,258	931	2,189	
31 法人税等調整額()	541	13	528	
32 四半期(中間・当期)純利益	2,737	4,261	6,998	5,400 (第2四半期累計期間) 9,400 (通期)
33 与信コスト総額()	820	1,634	814	1,600 (第2四半期累計期間) 5,400 (通期)

(注) 1. コア業務純益とは、一般貸倒引当金繰入前、国債等債券損益(債券5勘定戻)控除後の業務純益です。

2. 与信コスト総額は、与信費用に貸倒引当金戻入益・償却債権取立益などの与信関連損益を加味して算出しております。

3. ()は損失項目です。

2. 預金等、貸出金の残高

(単位:百万円)

(単体)	2020年6月末	2020年3月末比		2020年3月末	2019年6月末
		2020年3月末比	2019年6月末比		
1 預金・譲渡性預金(期末残高)	4,337,808	280,638	223,364	4,057,170	4,114,444
2 うち預金	4,271,128	283,522	227,239	3,987,606	4,043,889
3 うち個人預金	2,990,533	111,467	108,025	2,879,066	2,882,508
4 貸出金(期末残高)	3,151,546	67,224	156,662	3,084,322	2,994,884
5 うち消費者ローン	1,004,066	9,114	43,413	994,952	960,653
6 うち住宅ローン	831,207	10,589	35,319	820,618	795,888
7 中小企業等貸出金(期末残高)	2,292,445	45,509	139,620	2,246,936	2,152,825

3. 預かり資産残高、預かり資産関連販売額

(単位:百万円)

(単体)	2020年6月末	2020年3月末比		2020年3月末	2019年6月末
		2020年3月末比	2019年6月末比		
1 預かり資産残高(期末残高)	113,188	8,018	12,502	105,170	125,690
2 投資信託	108,707	8,021	12,395	100,686	121,102
3 国債等	4,481	3	106	4,484	4,587

(単位:百万円)

(単体)	2020年6月期	2019年6月期比	
		2019年6月期比	2019年6月期
1 預かり資産関連販売額	15,792	181	15,611
2 投資信託	9,227	1,268	7,959
3 証券仲介	1,852	851	2,703
4 個人年金保険等	4,712	236	4,948

4. 自己資本比率(国内基準)

(単位:百万円)

(連結)	2020年6月末	2020年3月末比	
		2020年3月末比	2020年3月末
1 自己資本比率(2÷5)	10.19%	0.23%	9.96%
2 自己資本(3-4)	203,077	1,365	201,712
3 コア資本に係る基礎項目	214,889	1,398	213,491
4 コア資本に係る調整項目	11,812	34	11,778
5 リスク・アセット等	1,992,608	32,205	2,024,813
6 総所要自己資本額(5×4%)	79,704	1,288	80,992

(単位:百万円)

(単体)	2020年6月末	2020年3月末比	
		2020年3月末比	2020年3月末
1 自己資本比率(2÷5)	9.72%	0.23%	9.49%
2 自己資本(3-4)	190,448	1,152	189,296
3 コア資本に係る基礎項目	201,437	1,888	199,549
4 コア資本に係る調整項目	10,989	736	10,253
5 リスク・アセット等	1,957,580	35,383	1,992,963
6 総所要自己資本額(5×4%)	78,303	1,415	79,718

5. 時価のある有価証券の評価差額

(単位:百万円)

(単体)	2020年6月末				2020年3月末		
	評価差額	2020年3月末比	評価益	評価損	評価差額	評価益	評価損
1 満期保有目的	198	40	198	-	158	158	-
2 その他有価証券	16,808	8,210	27,397	10,589	8,598	22,465	13,866
3 株式	14,255	4,369	16,136	1,880	9,886	12,286	2,399
4 債券	3,361	922	4,974	1,612	4,283	5,405	1,121
5 その他	1,065	4,873	6,030	7,095	5,938	4,406	10,345
6 (注3)	256	111	256	-	367	367	-
7 総合計	17,007	8,250	27,596	10,589	8,757	22,624	13,866

(注) 1. 有価証券のほか、買入金銭債権中の信託受益権も含めております。

2. 時価のある子会社・関連会社株式はございません。

3. 変動利付国債の保有目的区分変更(「その他有価証券」から「満期保有目的」へ)により発生した評価差額を記載しております。

6. 金融再生法開示債権

(単位:百万円)

(単体)	2020年6月末	2020年3月末比		2020年3月末	2019年6月末
		2020年3月末比	2019年6月末比		
1 破産更生債権及びこれらに準ずる債権	15,330	456	985	15,786	16,315
2 危険債権	44,895	2,470	3,028	42,425	41,867
3 要管理債権	6,548	1,610	1,265	4,938	5,283
4 小計	66,773	3,624	3,307	63,149	63,466
5 (合計債権残高に占める割合)	(2.08%)	(0.07%)	(0.00%)	(2.01%)	(2.08%)
6 正常債権	3,134,644	62,974	155,311	3,071,670	2,979,333
7 合計	3,201,418	66,599	158,618	3,134,819	3,042,800

以 上

当行は、「地域における更なる存在感の向上と収益力の強化の両立」を基本方針に定め、「中小企業取引において圧倒的競争力を有する地方銀行を目指す」ことを主要テーマとして掲げるとともに、「主要戦略 Action ~ 中小企業向け貸出を起点としたビジネスモデルの深化~」及び「主要戦略 Change ~ 競争力を拡大する新しい営業体制の構築~」への取組みを通じて、「どんな課題にも本気で向き合い、お客様の期待をこえる銀行」となることを約束いたします。

これらの取組みの結果、当第1四半期の経営成績は、経常利益は前年同期比51億円減少の46億円、四半期純利益は前年同期比42億円減少の27億円となりました。

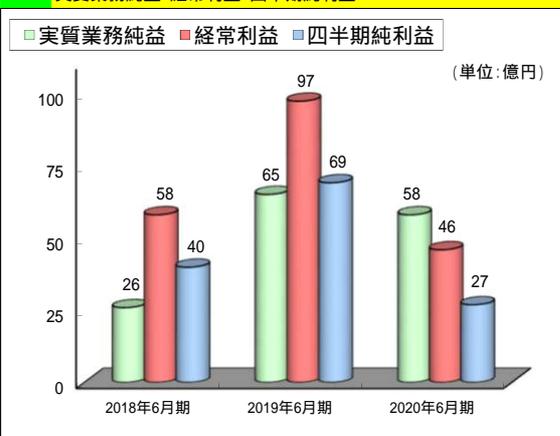
<業績概要(単体)>

(単位:億円)

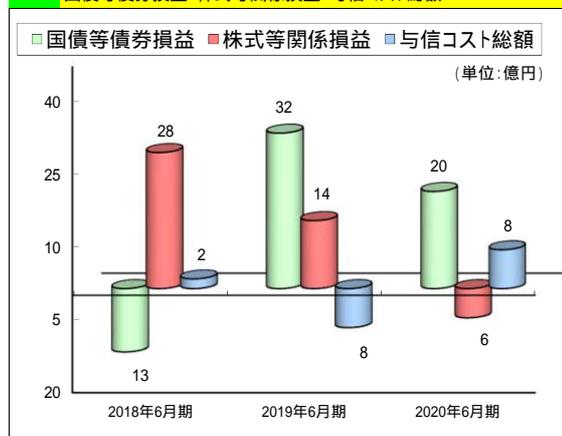
	2020年6月期	前年同期比	2019年6月期
	1 業務粗利益	144	11
2 資金利益	108	3	105
3 うち貸出金利息	82	1	81
4 うち有価証券利息配当金	29	1	30
5 うち投資信託解約損益	3	1	4
6 うち預金等利息()	1	1	2
7 役務取引等利益	15	0	15
8 その他業務利益	21	13	34
9 うち国債等債券損益	20	12	32
10 経費()	85	5	90
11 実質業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	58	7	65
12 うちコア業務純益	38	6	32
13 うちコア業務純益(除く投資信託解約損益)	34	6	28
14 一般貸倒引当金繰入額()	4	4	-
15 業務純益	53	12	65
16 臨時損益	7	39	32
17 うち不良債権処理額()	4	0	4
18 うち貸倒引当金戻入益	-	7	7
19 うち償却債権取立益	0	4	4
20 うち株式等関係損益	6	20	14
21 経常利益	46	51	97
22 特別損益	0	0	0
23 法人税等()	17	10	27
24 四半期純利益	27	42	69
25 与信コスト総額()	8	16	8

<業績推移(単体)>

実質業務純益・経常利益・四半期純利益



国債等債券損益・株式等関係損益・与信コスト総額

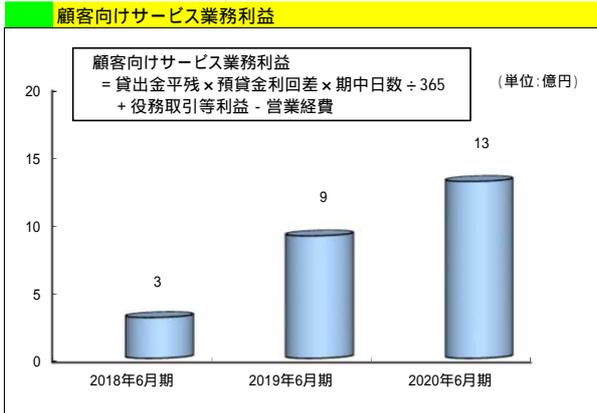


<配当予想>

2021年3月期 普通株式 1株につき35円(期末一括)を予定しております。

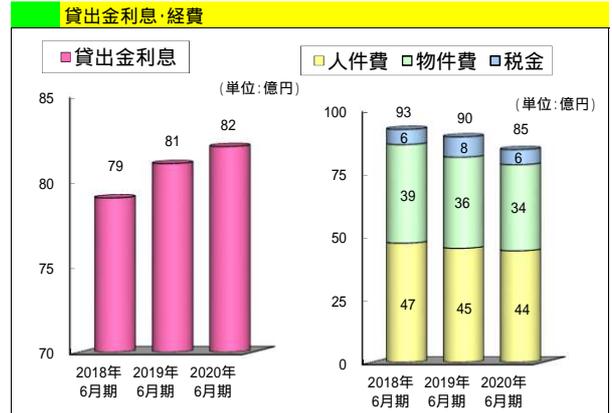
(注) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当行が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

< 顧客向けサービス業務利益 >



「顧客向けサービス業務利益」につきましては、貸出金利息が増加し経費が減少したことなどから、前年同期比4億円増加の13億円となりました。この「顧客向けサービス業務利益」については「銀行の本業で稼ぐ力」を示した重要な指標であると認識しており、当行は「顧客向けサービス業務利益」の増強に注力していきます。

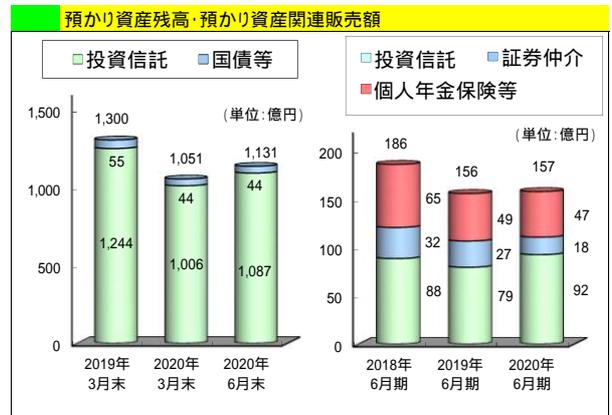
< 貸出金利息・経費 (単体) >



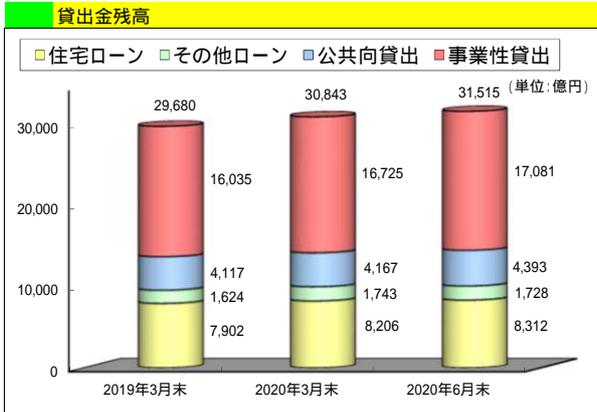
< 預金等 (単体) >



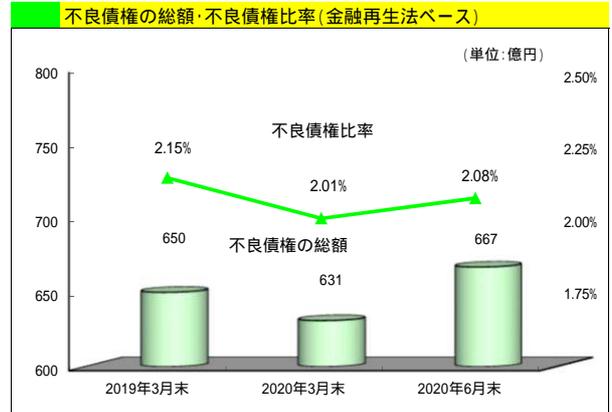
< 預かり資産 (単体) >



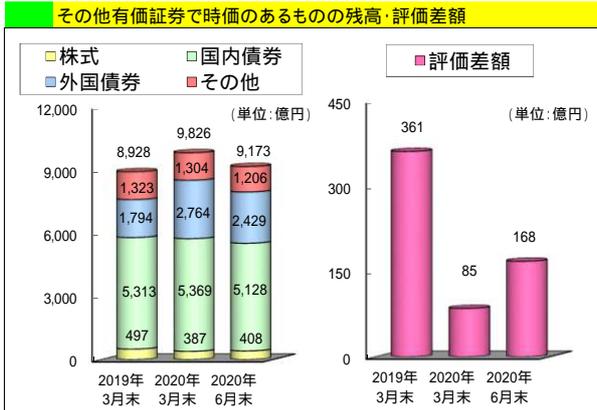
< 貸出金 (単体) >



< 不良債権 (単体) >



< 有価証券 (単体) >



< 自己資本比率 >

